

# 遠野風土記

24



市指定民俗文化財（無形民俗）  
所在地 小友町長野  
所有者 長野獅子踊り保存会（佐藤徳男会長）

## ながのししおど 長野獅子踊り

長野獅子踊りは、太鼓を持たずに体を覆う幕を動かして踊る「幕踊り系」の踊りで、小友町長野地区に伝承されています。長野地区ではこの踊りを後生に伝えるため、一九七二（昭和四十七）年に保存会を結成し、伝承活動を行ってきました。

獅子踊りには、由来を別にする駒木系と長野系の二つの系統があります。駒木系は、以前からあった踊りに山城（現在の京都市伏見区）あるいは遠州掛川（現在の静岡県掛川市）で習った新しい要素を取り入れ、現在の原型を完成させたとされ、佐比内獅子踊りや早池峰獅子踊りなど、市の北東部に伝わっています。

長野系は、清水山西来院を開いた興庵篤隆和尚の供をしてきた一関市東山町の東山五書という人が一五九七（慶長二）年に伝えたと言われます。駒木系とは反対に市の南西部に伝えられ、鱒沢獅子踊りや綾織獅子踊りなどが同じ系統です。

長野獅子踊りは、獅子踊りの由来を伝える重要な踊りと言えます。

広報遠野9月号11ページ「及川有紀さん」は「及川有紀さん」、18ページの「凜斗くん」は「凜人くん」の誤りでした。お詫びして訂正します。



日本先生の最新版占い本を購入◆占いによると来年は最高の年。今までの努力が一気に開花すること◆来年の広報は過去最高の出来になること間違いなし◆でも今年是最悪の年とのことでしたので、もう少しお待ちください。（小森）

新市誕生とともに「スタートした私の広報生活も三年目を迎えました◆読んで元気が沸いてくるような「広報遠野」を目指して、これからも頑張ります◆地域の話題や頑張っている人など、さまざまなお知らせをお待ちしています。（馬場）